

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 石川県金沢市立城南中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

所在地 〒 920-0966
金沢市城南1丁目24番1号

E-mail jyounan-j@kanazawa-city.ed.jp

Website http://www.kanazawa-city.ed.jp/jyounan-j/

幼児児童生徒数 男子 168 名 女子 137 名 合計 305 名
幼児・児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「健康・立志・自治・敬愛の校訓及び地域の実態や願いに基づき、望ましい生徒像の育成に努める」を学校理念として、ESDを教育活動全般で推進し、ESDの実践を通して持続可能な社会の担い手として、自ら考え行動することのできる生徒の育成を目標とした。

具体的には、「伝統文化」、「環境」、「国際理解」を3つの柱として、①金沢ふるさと学習、②総合的な学習の時間の学習、③生徒会活動の中で学習を深めている。

①金沢ふるさと学習

1年生では「伝統芸能教室」として、加賀万歳保存会の方々に来校していただき、伝統芸能の継承について考える良い機会となっている。

また「フォトコンテスト」と題し、金沢の町並みを写真にとり、コメントを加え、各自が作品を制作した。金沢の町並みの価値を再発見し、町並みを大切にしようという気持ちを持つことができた。2年生は「金沢の伝統工芸」について班ごとに、金沢の伝統工芸を体験し、職人の方々の巧みな技術に触れ、その価値を学ぶことができた。

3年生では1、2年生での学習をふまえ、修学旅行で訪れた京都や奈良などを、金沢と比較し、今後の金沢のまちづくりについて改めて考えを深めることができた。

②総合的な学習の時間の学習

本校は総合的な学習の時間に、伝統文化、環境、国際理解の3つを柱として学習を進めている。調べ学習に加え「伝統芸能教室」など外部講師による活動、「伝統工芸体験」などの体験的な活動も積極的に取り入れている。また、世界に目を向け身近なところから環境問題に取り組むことができる生徒、金沢を世界に発信することができる生徒の育成を目指し、活動している。

国際理解については、1年生は「国際交流教室」を開き、異文化への理解を深めるためにアメリカ・フランス・ベルギー・中国、韓国の方々をお招きしてお話を伺った。互いの国の文化や言語を尊重しあうことが大切であると知り、また、世界の国々の文化を知ることが国際協力・平和への第一歩であることを学んだ。3年生では、青年海外協力隊の方々による講演で、協力隊の方々が実際に訪れた国々の様子を聞いた。

また、10月末の「文化発表会」において、総合的な学習の時間の学習成果を、各学年代表生徒が発表し、全校生徒や地域の方々に向けて発信している。

③生徒会活動

年間2回、生徒会主催でPTAの方々や地域の方々の協力を得て実施している。限りある資源を有効に活用し、環境やボランティアについて生徒たちが理解を深めるという目的で、町会ごとに地域の人たちとふれあいを深めながら活動している。原則的に生徒全員が参加し、回収したアルミ缶を学校に集め、収益金を生徒の学校生活に役立つ物品の購入にあてている。

今年度から、7月28日の金沢「絆」の日の取り組みとして、校区小学校と協力し、地域清掃奉仕活動を行った。生徒の出身小学校の校区内で役割分担をし、中学生が主導で清掃活動を行い、各小学校に集合し交流することで絆を深めていた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間を主たる学習の時間とし、ESD学習、金沢ふるさと学習を行っている。教科教育及び道徳特別活動との連携を意識し、それぞれの時間で身につけた知識や技能を関連づけることにより相乗効果を上げ、生徒に確かな学力をつけることを目的としている。さらに、持続可能な社会の担い手としての意識を育み、自ら考え、行動することができる生徒を育成する。

金沢について学び、考え、関わり、発信するための体験的な学習を充実させ、金沢の良さ、自分の思いや意見を世界に発信できるコミュニケーション能力の育成も図る。

金沢市の中心部に位置する利点を活かし、美術館、図書館、裁判所等への校外学習等を積極的に取り入れる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度当初にESD校内研修を行い、生徒は校内放送や全校集会などを通じ、その意義や活動について学習している。夏休みには、全校生徒で絆活動に取り組んでいる。

10月に行われる文化発表会に向けて、それぞれがESDについて考えながら活動を行い、その集大成として発表を行う。

年度末には取組の成果と課題を洗い出し、来年度に向けた教育課程編成に活かし、それを職員全体で共有する校内研修も行う。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

<成果>生徒のアンケート結果は、総合的な学習の時間に「自分たちの住む金沢の良さを知ることができた」という設問に対し、肯定的な回答が98%、また「他の国や地域のことを学習して、その良さを知ることができた」という設問に対し、肯定的な回答が97%といずれも高い数値となっている。本校のESDの柱である「伝統文化」「環境」「国際理解」について学び、活動するという取組の充実がうかがえる。

<課題>本校は今年度からユネスコスクールに加盟した。社会科の授業を中心にユネスコスクールやESDについて学習しているが、生徒・教職員のユネスコスクールとしての意識はまだ低く、ESDの意義やその理解が十分定着しているとはいえない。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ユネスコスクールの活動成果をまとめ、金沢市教育委員会に提出し、閲覧できるようになっている。また、アルミ缶回収については学校だよりで、各学年の取り組みは学年だよりで地域や保護者に発信している。また、その活動は保護者や地域の方々の理解や協力を得られている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

金沢市の学校地域サポーターと連携し、さまざまな ESD の活動の講師を依頼している。また近隣の高等学校と連携して活動を行っている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

石川県国際交流協会から講師を派遣していただき、異文化交流を行っている。また、JICA から講師を派遣していただき、体験談など話していただいている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

生徒の感想から、「活動は楽しく、新しい発見や体験がたくさんできた。」といった内容が多かった。発表の場である文化発表会についても、「緊張したがしっかり発表できた。準備をがんばってよかった。」と、肯定的な意見や感想が多かった。また、地域の方に様々な点で協力していただき、地域とのつながりを深めることができた。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

「国際理解」・「環境」・「伝統文化」を3つの柱として活動する。
金沢ふるさと学習として1年生は「伝統芸能教室」と「フォトコンテスト」、2年生は「伝統工芸体験」、3年生は「金沢の偉人」など「伝統文化」について学習する。
また総合的な学習の時間を中心に1年生「国際理解教室」3年生は「国際協力講演会（JICA 出前講座）などの「国際理解」を中心に学習する。
生徒会活動として「アルミ缶回収」、「地域清掃活動」などの環境分野を中心に活動する。